

# 「基礎・基本」定着状況調査について

広島市立舟入小学校

校長 花本 和彦

広島県内の小学校5年生全員を対象にした「基礎・基本」定着状況調査が6月11日に実施され、その結果が先日公表されました。

本校では、教科・生活に関する調査を分析し、今後の指導に役立てていきたいと思っております。

## 1 各教科の平均正答率

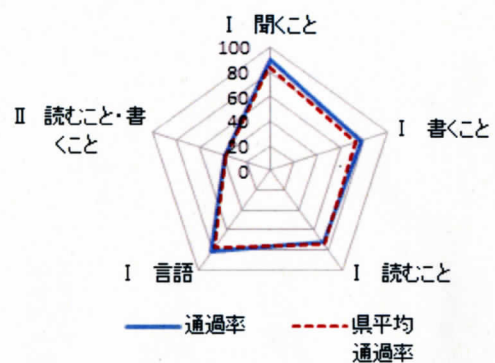
国語			算数			理科		
県	市	本校	県	市	本校	県	市	本校
70.1	66.0	73.2	69.8	66.7	71.8	61.3	57.9	61.0

## 2 各教科の調査結果の概要

### 【国語科】

領域	平均正答率 (%)		
	県	市	本校
聞くこと	84.5	80.0	90.1
書くこと	73.4	68.8	77.5
読むこと	74.2	72.3	72.7
言語事項	77.1	72.8	81.7
Ⅱ読むこと書くこと	38.2	33.8	38.5

領域別平均通過率(国語)



### 定着状況

- メモをとりながら情報を整理して聞き取る力が、よく定着しています。昨年からの聞き耳タイムの成果が表れています。
- 漢字の読み書きや主語と述語の関係をとりえたりするといった言語事項は、よく定着しています。

### 課題

- 登場人物の相互関係を理解し、文章から主人公の気持ちの変化を読み取る問題の正答率が低いです。
- 図やグラフなどの資料から必要な情報を取り出して、自分の考えを条件に合わせて書く力が定着していないようです。

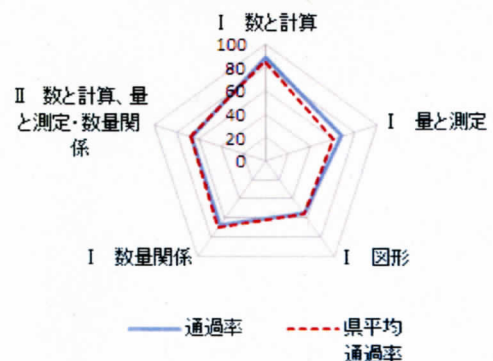
### 具体的方策

- 報告文や観察文など、いろいろな形式の文章を書く機会を計画的に増やしていきたいと思います。その中で、図やグラフなどの情報を活用して、自分の考えを表現する活動を仕組んでいきます。
- 物語文では、場面の役割を捉えて、主人公の変化に着目して読み取るようにしていきます。

### 【算数科】

領域	平均正答率 (%)		
	県	市	本校
数と計算	84.3	81.9	84.1
量と測定	60.4	56.3	68.7
図形	55.9	50.6	55.6
数量関係	69.4	66.8	68.0
Ⅱ量と測定・数量関係	68.1	66.4	62.6

領域別平均通過率(算数)



### 定着状況

- いろいろな計算問題を解く力は、ほぼ定着しています。
- 「量と測定」では、時間を求めたり、角の大きさを測ったりすることがよくできています。

### 課題

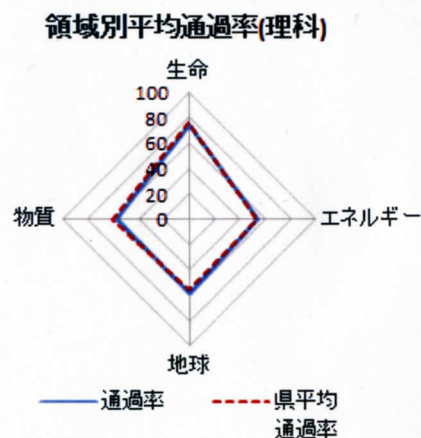
- 図形の定義や性質の理解が不十分なようです。また垂直や平行など、算数的用語を使って説明することが難しいようです。
- 問題文から必要な情報を取り出して、式と言葉を使いながら、理由を説明する力が定着していないようです。

### 具体的方策

- 考えた事柄に、理由をつけて順序立てて説明する言語活動を授業の中に取り入れていきます。考えた道筋をノートに書き残し、説明や考えの整理に生かすことができるよう学習を進めていきます。
- いろいろな問題を複合的に復習できるように、家庭学習を充実させていきたいと思います。

### 【理科】

領域	平均正答率 (%)		
	県	市	本校
生物	75.3	74.1	74.5
エネルギー	52.9	47.7	53.2
地球	55.8	52.4	58.4
物質	60.1	56.0	56.8



### 定着状況

- 生物のすみかや昆虫の飼育方法については、よく理解しています。
- 温度計や鏡など、観察を通して使った用具の使い方が、ほぼ定着しています。
- 空気と水の体積変化では、実験を通して得た知識を理解しています。

### 課題

- 乾電池のつなぎ方と電流の強さなど、変化の要因を関係付けて考える力や、理科的な用語を使って説明する力が定着していないようです。
- 気温の変化を表したグラフと天気の様子を結び付けて考えることが難しいようです。

### 具体的方策

- 理科の授業では、できるだけ体験的な活動を増やし、実生活の具体的な場面と結び付けて学習していくように取り組んでいきます。
- 観察したり、実験したりするときは、理科的な用語を使いながら、絵や文章で記録する機会を増やしていきます。



### 3 生活と学習に関する意識・実態について

#### 【生活などに関する調査から】

##### 調査結果から見られる子どもの姿

- ほとんどの児童が、基本的な生活習慣を身に付けています。
- 努力すれば、自分は大抵のことができると思い、将来の夢や目標をもっています。学校に行くのは楽しいと感じている児童が多いです。
- 地域や子ども会の行事には、あまり参加していないようです。

##### 今後の取り組み

- 今後もよい生活習慣を身に付けさせるために、生活リズムカレンダーに取り組んだり、家庭学習の充実を図ったりしながら、家庭と連携していきたいと思います。
- 地域行事について、学校からも呼びかけをして参加を促していきたいと思います。

#### 【学習に関する調査から】

##### 調査結果から見られる子どもの姿

- 学習を最後までやり遂げ、達成感を感じ取っている児童が多いです。また、もっと分かるようになりたいと思いながら学習をしている児童も多いです。
- 授業の予習をすることや、計画を立てて学習を進めることがあまりできていません。

##### 今後の取り組み

- 「分かりたい、もっとできるようになりたい。」という気持ちを大切にして、これからも主体的な学習態度を育てていきたいと思います。
- 児童に単元や授業の流れをつかませ、学校でも計画を立てて学習に取り組むことを指導していき、家庭学習につなげていきたいと思います。

#### 【教科の学習から】

##### 調査結果から見られる子どもの姿

- 国語科・算数科ともに、好きだと答えた児童は80%未満でした。
- 学習したことを生活場面で生かそうとする意識は、国語科よりも算数科や理科の方が高いようです。
- 算数科では、友達の考えと比べて聞いたり、前に学習したことを使って考えたりすることができます。

##### 今後の取り組み

- 身の回りの問題から関心をもたせたり、実際に見たり触れたりできるような体験的な学習を取り入れたりして、学習が楽しいと感じるようにしていきたいと思います。
- 学習のめあてをしっかりとめさせ、「できた。」という達成感を感じられるように、学習を仕組んでいきたいと思います。

### 4 学力向上へ向けた全校的な取り組み

- 「書く」領域の力をつけるため、国語科を中心に、言語活動を充実させていきます。また、各教科で自分の考えを文章に表す活動を増やしていきます。
- 自分の考えを、根拠をはっきりさせたり、具体的に相手を意識したりして論理的に説明できるように、学年に応じた取り組みをしていきます。
- 今後も家庭学習の大切さを唱え、家庭と連携して家庭学習の充実を図ります。